

校 歌

mf 明るく普通の速さで

あたらしきぶんかのはな
 のさんらんとやがてかほらむみ
 ぶきよくやまむらさきにめ
 ぐりたるまなびのにはよあ
 ふるるよろこびいざてをとりてや
 むなきあゆみにまことをとめむ

校 歌

木村五一 作詞
 津田 甫 作曲

一、新しき文化の華の

燦爛とやがて薫らむ

水清く山紫に

めぐりたる学びの庭よ

溢れる歓喜いざ手を把りて

止むなき向上に真理を求めむ

二、逞しき腕の力は

遠つ代の祖に承けたり

汗あゆるその勤労の

成せる郷土豊けき穰

とこしへ栄行くこの世に生きて

止むなき教養清純を讃めむ

三、かぐはしき緑の夕

白瑤の樹氷咲く朝

眉秀で魂澄む子等が

まどろして誉を謳ふ

見よ見よ祖国の前途は新

止むなき希望に光明を添へむ